

広 報

はんの樹



*最近の出来事から
*各課便り
*寄贈品報告

2-4頁
5-10頁
11頁

社会福祉法人 榛桐会

はんな・さわらび療育園

群馬県高崎市榛名山町28-30

最近の出来事から

11月11日 医療安全研修会



11月11日に医療安全委員による医療安全研修会が行われました。今回の研修は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の為、事前に研修内容を録画し、定められた期間の間、動画を職員の誰しものが閲覧できる状態にして研修会を行ないました。

今回研修を受け職員一同の医療事故の予防や再発防止対策・医療事故に関する考え方の理解がより一層高まりました。

11月21日 追悼式



2020年度の逝去者記念礼拝が行われました。今年度も榛名聖公会の輿石司祭をお招きし、亡くなられた方々に思いを馳せました。今回は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の為、当職員のみ参加となりました。

私たちはこの礼拝を通して、過去に亡くなられた方たちのことを思い起こし、多くの思い出に浸るだけでなく、現在の利用者様のために、気持ちを新たに職務に励んでいこうというエネルギーをいただくことができました。また、毎年ある行事ですが、だからこそ自分の中の基盤のようなものを見つめなおすことができる貴重な機会であると再認識する事が出来ました。

輿石司祭ならびに、毎年伴奏を務めてくださっている秋葉司祭の奥様に、この場をお借りして感謝申し上げます。

～追悼式の様子～



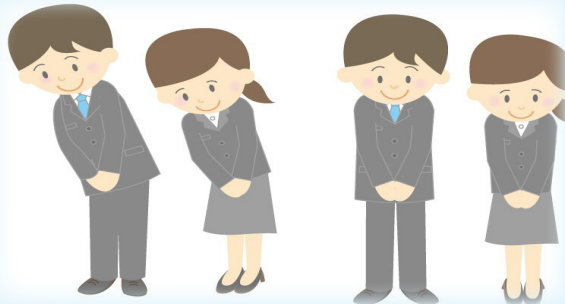
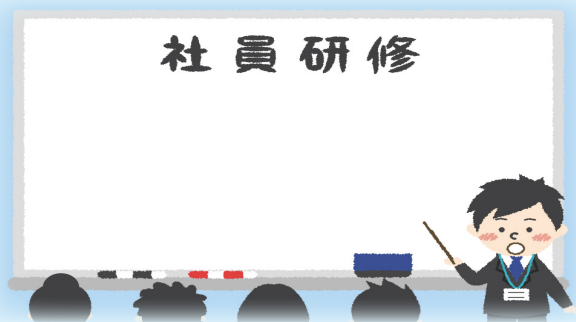
11月30日 中途採用者研修



当法人についての基礎知識、社会人としての意識、ビジネスマナー、防犯・防災、個人情報保護等について学びました。

参加された職員の皆さんが真剣に研修に臨んでいる姿が大変印象的でした。

今回学んだ知識を、はんな・さわらび療育園の各部署、法人内の他事業所の配属先での業務に活かしていただきたいと思います。



各課便り

第二療育課から

ご報告

私ごとで大変恐縮ではございますが、私、中島伸浩は予定よりお付き合いさせて頂いていただいた女性と五月十二日に入籍いたしましたことをこの場を借りてご報告させて頂きたいと思います。

共通の友人を介して親しくなり、職業が一緒だったという共通点もあり、交際が始まりました。悩んだ時は励ましあい、些細なことでも笑いあうという日々の中で、この先も共に歩んでいきたいという思いが募り、このような運びとなりました。まだまだ、未熟な私ですが、力を合わせて、幸せな笑いの溢れる家庭を築いていきたいと思えます。

また、仕事においてもより一層、尽力してまいりますので今後ともよろしくお願いいたします。

(看護師 中島 伸浩)

リモート面会

今年も暑い夏が過ぎ、涼しくなってきました。朝・晩と一段と肌寒くなり、秋を感じる季節となりました。

今年には新型コロナウイルス感染症の影響もあり、面会もできず寂しい思いをしてしまう利用者様も多くいると思います。その中で、ラインのビデオ通話を使ったリモート面会の取り組みをしています。限られた時間の中で、ご家族様とのリモート面会では、皆さんとても良い表情をされています。それまでは、うとうととしてもご家族の声

が聞こえると、ばちつと目を覚まし、家族の顔を見てニコニコ笑顔になります。新型コロナウイルス感染症の影響の中で会えないご家族とのリモート面会はとても嬉しそうです。

これからもご家族とのつながりを大切にし、取り組んでいきたいと思えます。

(介護福祉士 黒澤 知代)

半年

日毎に秋も深まってまいりました。私のはんな・さわらび療育園に入職してから早いもので半年が経ちました。初めての重症心身障害児・者の方への支援で、まだまだ分からないことが多くありますが、先輩方から指導をいただき、関わり方や支援方法など日々たくさんの方を学んでいます。担当も持たせていただき、お一人お一人の理解とより良い支援の提供に向けて取り組んでいます。

依然として新型コロナウイルスへの感染予防対策が続いてい

ますが、利用者様へ出来ることを考え、楽しめる活動を行っていきたいと思います。

チームの一員として貢献できるように努力してまいりますので、今後とも宜しくお願い致します。

(社会福祉士 林 千尋)



季節も秋になり、暑かったり寒かったりと寒暖差が大きくなっています。利用者様もこの寒暖差により体調を崩す方が多くなっています。新型コロナウイルス感染症も終息しておらず、毎日新型コロナウイルス感染症のニュースが後を絶ちません。体調を崩しやすいこの季節だからこそ、利用者様だけでなく私たちスタッフも体調管理に注意し、日頃から感染予防対策をしつかり行っていく必要があります。これからどんどん寒くなり、インフルエンザなども流行りだす時期に差し掛かっています。

(看護師 櫻澤 貴典)



もうすぐ冬本番

園周辺の紅葉も終わり、中庭の木もすっかりと葉を落として冬本番に備えた準備をしています。

私とはというと、四月から第一療育棟でお世話になり始め、九か月を迎えようとしています。あっという間に時間が過ぎて、なかなか成果を上げられないでいる状況ですが、利用者様の皆様の笑顔や小さなお子さん達から、頑張っています。

また今年も新型コロナウイルス感染症の影響で、面会制限が続いている状況です。利用者様、保護者の皆様におかれましては、心配と寂しい思いをされていることと思います。その様な中でも、保護者の方々から頂く、スタッフへのお気遣いの言葉は、職員一同大変ありがたく思っていると共に、仕事への励みとなっています。これから一段と寒さが増し、

冬本番を迎えます。新型コロナウイルス感染症に加えて、インフルエンザへの対策も必要となってきました。例年以上の注意を払いながら、利用者様、保護者の皆様、そして職員共々、今年の厳しい冬を無事に乗り越え、新型コロナウイルス感染症も早期に収束して、元気に新しい春を迎えられることを願っています。

(社会福祉士 長井 克自)

トレーラー

榛名の山の木々も色付き、肌寒い季節となりました。

今年はコロナの影響を受け、以前とは違った日常になりましたが、利用者様にも毎日が明るく楽しく過ごして頂けるよう努力し、関わらせて頂いています。先日の活動で、二〇二〇年最後のトレーラーを行いました。雪の降る時期にトレーラーは除

雪機として使用されます。ですので、この時期が今年最後となり、また来年温かくなるのとトレーラーに乗車出来ず。

普段私はトレーラーの運転手する機会が多いのですが、久しぶりに後ろに乗車が出来ました。運転の時は利用者様の様子がぱっと見しかわかりませんが、後ろに乗車する事で様々な様子が見られます。今回はH様、T様と一緒に乗車しました。H様は声を出し職員と楽しんでる様子が伺えました。T様は大きな揺れがあると驚いて少し興奮されましたが、その後は穏やかに乗車されていました。外はひやっとしていましたが、トレーラー内は利用者様、職員とスキンシップやコミュニケーションでポカポカのひと時でした。

これからさわらびは、雪が降り寒い季節となります。利用者様、私たち職員、身体に気を付けて元気に過ごしましょうね。

(保育士 小坂橋 勇太)

第二療育課から

しゃぼん玉とんだ!

九月とはいえ、まだまだ暑い日が続くある日のこと。利用者の皆さんと中庭に出て、しゃぼん玉遊びをしました。その日は風もなく、大きなしゃぼん玉を作ったり、小さなしゃぼん玉を作ったりしてみんなで遊びました。しゃぼん玉がふわふわと飛んでいるのを見て、利用者様は笑顔になったり、足をバタつかせたり、声を出したりして、とても楽しそうでした。キラキラとしたその表情を見てみると、こちらまで幸せな気持ちになります。

(准看護師 倉林 豊子)

春の来ない冬はない

夏の酷暑が一旦落ちついて来ましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。

新型コロナウイルス感染症を中心に気が滅入る日々を過ごしている方も居るかもしれません。特に保護者の皆様は思うように利用者様との面会が出来ない事で、心配されている事と思います。限定的ではありますが面会やテレビ電話が行えています。が、面会中に感極まる方やとても喜んでいる方の姿を拝見すると、良かったという気持ちの反面、かつての日常に戻ってほしい気持ちが一層強くなります。

これからは秋から冬となり、様々な意味で厳しい時期になると思います。しかし、またかつての日常に戻るのを期待しつつ、業務に励もうと思えます。

(看護師 木村 直登)

ウィズコロナ

日に日に寒い日が多くなり、冬が近づいてきました。

一月に入職し、間もなく新型コロナウイルス感染症が流行しました。長い間面会中止となり、ご家族の方々の心配や不安が募る日が続いていたと思います。「ウィズコロナ」の中でも、利用者様が安全に楽しく過ごせるよう気を配っている毎日です。

今年インフルエンザだけでなく、新型コロナウイルス感染症も心配なので体調管理に気を付けてお過ごしください。

(看護師 佐京 江美)



リハ課から

理学療法士として

九月を迎え、涼しい秋風を感じられる季節となってきました。

昨年十月に二棟に配属されてから早一年が経とうとしています。入職してから一棟の利用者様を中心に担当させていただいていたので、二棟の利用者様を中心にリハビリ治療をさせていただく中で新たな評価や治療、生活の考え方など多くのことを学び、また経験させていただいております。

先日一棟より転棟された利用者様が一名おり、リハビリ治療をさせて頂いています。一年前より身長も伸び、体重も増え、身体の成長を感じました。そして何よりもまた、この方のリハビリ治療ができるということに喜びを感じました。リハビリ治療を開始するとすぐにご本人様の身体機能の向上を感じ取りま

した。その時は喜びと感動が溢れ、今までの自分がしてきた治療がこの方の力に少しでもなつたんだ、次の担当のセラピストとも継続してリハビリを頑張られていたんだ、と嬉しさや喜び、確信など様々な気持ちが一度に押し寄せました。この瞬間は何ものにも代えることはできず、きつとこれからの理学療法士としての人生の中でも何度も思い返すと思います。改めて理学療法士として当園の利用者様に理学療法を提供できることに感謝致しました。

今年は何年催していた行事が無くなってしまうたり、日中活動の内容を制限せざるを得ない状態でもありました。このような状況の中で理学療法士として私が利用者様にできることはなんでしょうと考え、利用者様が充実した生活を送っていただけるよう行動していきたいと思えます。

(理学療法士 荒木 麻鈴)

一人一人

夏のうだるような暑さが和らぎ、少し涼しさを感じる季節となつてまいりました。暑くて外に出たくなかった頃を思うと外へ出掛けたい気持ちが増してきますね。外へ出かけたく思う反面、季節の変わり目は体調を崩しやすい時期ですね。

そして、やはり世間を騒がせている新型コロナウイルス感染症は怖く感じます。感染症は本当に恐ろしく、毎シーズンのインフルエンザ流行も心配されることです。また繰り返しいために、一人一人の努力と気遣いが大切になってくると思えます。また、新型コロナウイルス感染症で環境が一変してしまつた世界ですが、ここでも一人一人が協力し合い、助け合うことで少しでも早く元の生活に戻ることができればいいと思えます。

私も精一杯、頑張つていきたいと思えますので、皆様もくれ

ぐれも体調には気をつけて一緒にがんばつていきましょう。

(作業療法士 泉 俊介)



コロナに負けない絆

今年度も折り返し地点を過ぎました。「新しい生活様式」にも日本全体が少しずつ慣れてきたころかと思えます。当園ではグループごとでの生活が続き、利用者様はご家族や他グループの方と昨年までのようにはお会いできない状況が続いています。このような状況でも、若しくはこのような状況だからこそ感じられた人と人との繋がりについて、ご紹介いたします。

私がいつも一緒にリハビリをさせていただいているS様に、他グループの職員（以前担当だったリハビリ職員）からお手紙が届きました。S様は満面の笑顔を浮かべられました。顔を向かい合わせてお話ししたり触れ合ったりすることが難しい中、通常時とはまた違った交流を通して、お二人の心の繋がりを感しました。

Aチームでは、感染症流行の状況に応じ、リビングを活用し

（一定の距離を保ちながら）利用者様同士の交流も楽しまれています。Aチームには未就学のお子様から六十歳代の方まで、幅広い年代の利用者様がいらつしやいます。リビングでは、お互いの様子を眺めたり、触れ合って笑い合ったり、幼児の方を優しく撫でて暖かい眼差しを送られたり…。同じ時間、場所を共有していることで、絆を深めていらつしやるように思います。

これからも、安全に配慮した形で、人と人との繋がりを大切に行っていくたいと感じています。

（作業療法士 並木 智子）



利用者様からの学び

今年度より入職し、あつという間に約八ヶ月が過ぎました。入職した当初は重症心身障害児・者の方と関わったことがなかったため、利用者様とお話するのも緊張してしまい、うまくリハビリを行うことができませんでした。

そんな私ですが、毎日関わる中で利用者様の性格や好みなどを次第に理解できるようになり、今では緊張せずに関わることでできています。利用者様に対してこちらが何かアクションを起こした際に利用者様の表情が見られると私自身も嬉しくなります。しかし、利用者様の表情は発声する、体を動かす、目を動かすなど様々で、非常にさまざまな場合もあり、私自身気付いていないこともあるのではないかと思います。

また、皆さん様々な個性があり、未だに日々発見することもたくさんあります。他のセラピ

ストから聞いて、そんな個性もあつたのだと気付かされることも多いです。一人一人、本当に個性があるため、利用者様から学ぶことも非常に多いと感じています。今後も関わっていく中で利用者様が何をどのよう感じて、何ができるのかなど、日々学ばせていただき、その方に本当に必要なリハビリを提供できるようにしたいです。

現在はコロナ禍の中にあり、本来行われるべき行事も十分に行われていない状況にあると思います。この状況がいつまで続くか分かりませんが、そんな中でも利用者様一人一人が充実した日々を送っていただけるような関わりができるように今後も精進していきたいと思えます。

(理学療法士 島村 実乃里)

通所支援 事業所から

日増しに寒さがしみるようになりましたが、今年インフルエンザだけではなく新型コロナウイルスウィルス感染症も心配なので体調管理には本当に気を使いますね。さわらび通所でも朝の送迎時に利用者様の検温を実施し、その日の状態変化をご家族にお伺いするなどをして感染予防に努めています。それに加え、スタッフもそれぞれが日々感染予防として手洗い・消毒・マスク着用を徹底し自己への、また他者への感染を防ぐよう気を付けております。「いつたいつまで続くのか…」などと思いがながら過ごしている毎日です。

そんな中でもさわらび通所の利用者様は、大きく体調を崩すことなく元気に通われています。このコロナ渦で気疲れや不安が積もる中、利用者様の元気

な顔を見るたびに私たちスタッフは励まされます。そんな利用者様の元気な姿をこれからも守りたいとスタッフ一同強く思っております。

「ウィズコロナ」の中にも少しばかり慣れもできましたが、寒くなるこれからはインフルエンザにも注意をし、今一度気を引き締めていきましょう。

(看護師 春日 勇太)



寄付・寄贈品の紹介



十一月二十五日
 寄付主 群馬県こんにやく協会 様
 寄贈品
 こんにやく 二十個
 しらたき 十四個
 さしみこんにやく 六個
 カレンダー 六個

いつもご支援を賜り、感謝申し上げます。



はんな・さわらび療育園からの風景

10月



11月



現在は散ってしまいましたが、はんな・さわらび療育園周辺の紅葉の様子です。今年の楓はいつもの年より美しく紅葉しました。自粛期間によりご覧になれなかった方に少しでも秋を感じていただきたく、ささやかながら掲載いたします。

2020年9月～11月の主な行事

- 九月 火 研修委員会
七日 月 入所部門基本構想策定会議
八日 火 安全・感染・褥瘡・給食委員会・マネジメントレビュー
九日 水 昼礼
十日 木 二〇二〇年度感染対策研修(第一回)
ISO9001内部監査研修
十一日 月 サービス向上委員会
十二日 火 常任理事会
十三日 水 ISO9001推進会議
十四日 木 臨時感染対策委員会
連絡協議会
十五日 火 研修委員会
十六日 水 入所部門基本構想策定会議
十七日 木 安全・感染・褥瘡・給食委員会
ISO9001内部監査(～十六日迄)
常任理事会
ISO推進会議
連絡協議会
- 十月 月 研修委員会
五日 月 入所部門基本構想策定会議
六日 火 研修委員会
ISO推進会議
十三日 火 安全・感染・褥瘡・給食委員会
ISO9001内部監査(～十六日迄)
常任理事会
ISO推進会議
連絡協議会
- 十一月 月 研修委員会
二日 月 入所部門基本構想策定会議
九日 月 安全・感染・褥瘡・給食委員会
十日 火 サービス向上委員会
十六日 月 追悼式
二十一日 土 ISO推進会議
常任理事会
連絡協議会
二十六日 木 理事会
三十日 月 中途採用者研修

社会福祉法人 ^{しん} 榛 ^{とう} 桐 ^{かい} 会
はんな・さわらび療育園

〒370-3341

群馬県 高崎市 榛名山町 28-30

TEL 027-374-9221(代)

FAX 027-374-9159

<http://www.shintokai.jp/>

E-mail:sawarabi@h-sawarabi.com

発行責任者 園長 金子 広司